

青森県SDGs取組宣言書

所在地 東北町字柳沢59-21  
 名称 東管工業株式会社  
 代表者 蛭沢宮行

わたしたちは、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針等及び取組を下記のとおり宣言します。

SDGs達成に向けた方針等

当社は廃棄物ゼロの「循環型社会形成」の実現を目指しています。「美しく快適な環境を未来に」を理念とし、廃棄物を高貴な資源としてより一層の再利用を進めつつ、工事・運送業含め、総合的な「循環型社会を実現する事業」である事を進めていきます。  
 更にこれまで以上に農業や公益事業にも力を注いでいきます。社内のみならず、地域と共に活動を広め、継続的な地球環境づくりを推進していきます。

取組内容	達成を狙うゴールの番号（1～17）	達成を狙うターゲットの番号（1.1～17.19）
～廃棄物ゼロ「循環型社会形成を」～ 廃棄物の分別を更に細分化し、リサイクル率の向上に取り組みます。全事業を通してエコドライブ、ペーパーレス化等、社内でも環境教育を進めます。 地域においても、海洋ゴミの撤去や「学校教育サポーター」に登録し、学校教育に関わり、職場見学やリサイクル活動の支援（分別指導や資源回収）を推進しています。	6、11、12、14	6. b、11.3、11.6、12.2、12.5、14.1、14.2
～性別・障害者・高齢者・外国人・ジェンダーレスが活躍できる職場環境づくりを～ 全ての労働者が「やりがい」を持ち、継続して働ける多様な働き方の仕組みづくりをしていく。 資格取得、社内研修等、様々な学びの場を提供しつつ、スキルアップに対しても相応の評価を約束しています。 今まで以上に支援体制を整え、QOL（個人の生活の質）を守っていけるよう推進していく。	2、12	2.1、12.2、12.3、12.5
薬物乱用やアルコールの有害な摂取を防止するため、全ての運転手に対して毎朝アルコールチェック及び血圧測定・面談を行っております。それとともに全ての労働者に対して交通安全事例紹介など交通安全に関する啓蒙活動を定期的に行っております。また、有害化学物質削減と大気汚染防止のため、最新機器の導入と「アイドリングストップ」「廃棄物のリサイクル率アップ」など日々従業員の意識向上を図っており、「サーマルリサイクルから「マテリアルリサイクルへ」といった先進的な取り組みも行っております。	3	3.5、3.6、3.9